

# 緑のまち

——北国分だより——

第124号 2018. 1. 20発行

編集「北国分外環対策協議会」で検索  
市川市北国分4-8-6 佐々木方  
TEL 047-371-9528  
<http://midori.kuuki.info>  
[ishitaka6648@gmail.com](mailto:ishitaka6648@gmail.com)



## 迎春



### 第23回 森の音楽会報告

昨年10月9日(祝)、23回目の小塚山森の音楽会が行われました。秋の開催は2回目です。前は寒くて困ったという事もあり、今回は「カイロ」を用意したりと準備しましたが、その心配もなく、暖かくいい天気にも恵まれ、たくさんの方に参加していただきました。

オープニングでは外環道路の現状や問題点などを外環連合の高柳さんに話していただきました。騒音問題など解決されていないまま開通させようとしている現状があり、これからも活動していく事が話されました。その後は、緑のまち合唱団のコーラス、アンクルンの会の演奏でした。参加者と一緒に歌ったり、手拍子をしたりと歌と演奏を楽しませてくれました。

メイン演奏は昨年と同じく松戸矢切で活動しているジャズグループ「シカゴデュークス」の皆さんでした。リズム感たっぷりのジャズ、スローながら懐かしいジャズ、そして日本の曲(見上げてごらん夜の星を)など、たっぷりと聴かせてくれました。森の中でのジャズと聞くと「どうなるかな?」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、それがぴったりと合って心地よく聞くことができました。

今後外環が開通して森の中のトンネルをどんどん車が走るという状況になる・・・と考えると次回の音楽会がどうなるかわかりませんが、皆さんの声を聞きながら考えていきたいと思っています。参加していただいた皆さん、御協力いただいた皆さんありがとうございました。

(実行委員会 佐々木陽子)

※ 当日の忘れ物として帽子(布製ベージュ色)を預かっています。心当たりの方は、佐々木(371-9528)まで御連絡ください。



11月12日(日)道路全国連の交流集會があるので参加して欲しいと誘われ、市川市文化会館に行って来ました。「住民主体のまちづくりで道路交通政策の見直しを」のテーマで、全国各地で運動をしている方々が150名近く参加され熱気溢れる会場に、初めて参加した私はびっくりしてしまいました。

お茶を買おうとしていたら、エレベーターからベレー帽をかぶった綺麗な方に見覚えが「あれ、本・・・」と言いかけたら「本村です」とおっしゃったのでまたびっくり！衆議院議員の本村伸子さんが、どうして市川市までいらっしゃたのかと思っていたのですが、名古屋環状2号線問題で住民と一緒に闘いを続けて来られたことを聞いてさすがだなと感心してしまいました。

初めに道路全国連事務局長の橋本氏より基調報告がありました。「旧来型公共事業からの転換を」というテーマです。国際競争力強化とオリンピックを口実に2018年度一般会計予算要求が、100兆9586億円になり、そのうち国土交通省の公共事業関係費が、6兆238億円にのぼるといふ。桁違いの数字で分かりにくいですが、オリンピック最優先で、異常なほど大型開発にシフトしていることがわかります。ただ人口減少していく中で、このまま大型開発を進めていく事は問題であり、生活密着型の公共事業に変えていくべきであるという提案はもっともだと思いました。その次に、環境事業チェック議員の会事務局長の初鹿明博衆議院議員の報告がありました。

メインは「住民主体のまちづくりへの課題」をテーマに、埼玉大学名誉教授の岩見良太郎先生の記念講演でした。主な内容をご紹介します。

○東京オリンピックを挟む2015年～2025年の10年は、環状メガロポリス構想から、スーパー・メガリージョンを基軸とした新たな開発段階への移行期間であり、首都圏の将来を決する【運命の10年】とも言える。品川から名古屋を経由して大阪までを1時間で行けるようにしたり、都市計画規制緩和で容積率200%以上の高層ビルが計画されたり、都心はバブルの再来だといわれている。これに対して住民にとっての【運命の10年】として、「住民自治のまちづくり」をめざしていかなければならないと提案されました。ニューヨークの下町再開発問題や、イギリスの都市再生計画を紹介した後、「住民主体のまちづくりに逆行する日本の都市計画」として、より暮らしやすい都市づくりではなく、企業がより儲かる都市づくりであると批判された。

【暮らしに根ざし、暮らしをゆたかにするまちづくりを】として、場のまちづくりを提案されました。「場のまちづくりとは」として、

- 場(居場所)は、ゆたかな活動を育み、活動を通じてゆたかになる。
- 場のまちづくりの要は、縁(人と人のつながり)づくり、その集合としてのコミュニティーづくりにある。
- 場づくりは、場所づくり、縁づくり、そして生き生きした活動・活動主体づくりであり、住民の主体的参加によってはじめて実現できる。

【道路づくりではなく、道づくりを基本に】

道と道路の峻別・・・道(みち)はコミュニケーションの印・手段であり、道路は車支配の空間であり、人と人とのつながりを引き裂き、都市の本質をかたちづくるアクティビテ

ィを阻害する危険性がある、とのお話でした。

\*岩見先生の都市計画論は、私たちが考えている北国分地域の将来を見ていくうえでも、とても分かりやすく参考にしていかなければならないと思いました。地域の住民が主体的に参加して、自然を活かした住みやすいまちづくりをめざしていくことが大事だということでした。道路問題だけでなく、まちづくりを総合的にとらえて考えていかなければいけないという岩見先生の話の伺って本当に良かったです。

\*\*\*\*\*

## □探鳥会報告□



日 時：平成 29 年 11 月 26 日（日） 天 候：晴れ

参加者：関根、鈴木、松林夫妻、新谷、三好、佐々木、村岡 計 8 名

確認された鳥：ヒドリガモ カルガモ オナガガモ コガモ  
ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ アオサギ  
オオバン カワセミ モズ ハシボソガラス  
ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ エナガ  
メジロ スズメ アオジ 計 19 種

コメント：良い天気恵まれ、林ではメジロ、シジュウカラが多く、又珍しくアオジも出ました。じゅん菜池では、カワセミが 2 羽繁殖行動に入ったのかあちこちを飛び交いカイツブリが 4 羽群れていたのは親子だったのか？オオバンもじゅん菜池では初認等々、とても興味のつきない探鳥会でした。(村岡) 次回は、2月12日です。

\*\*\*\*\*



バードウォッチングに参加して

鈴木 秀子（北国分 2 丁目）

快晴のバードウォッチング日和よりでした。参加者は少なめでしたが、木々は黄色く、真っ赤に色づき見上げれば空は真っ青で雲ひとつない気持ちのいい一日でした。鳥の鳴き声も姿も少なかったですが、それを補ってあまりあるものもありました。近頃あまり見なくなったアオジ、お腹が黄緑できれいな鳥です。そしてじゅん菜池では二羽のカワセミが追いかっこを何度も繰り返すのが見られました。これもラッキーでした。確認はできませんでしたが、私はペアだと思っています。最後はオオバン、黒い鳥ですが、これも珍しいことです。

最後には村岡先生が、年々鳥の種類、数が減ってきていること、地球の温暖化やその他の原因によるものではないかと心配されていることが、散歩で鳥に出会うのを楽しみにしている私としても、とても気になるお話でした。

“戦争はイヤ”のスローガンのもと、こうのだい九条の会「第8回秋の文化展」は、11月30日から12月4日の日程で国府台のスペース園で開催されました。今年は会場の前の里見公園のみみじも真っ赤に色づき、来場者の目を楽しませていました。作品は75人の方々と、大作から可愛らしい小物までたくさんの個性溢れる作品が飾られ地域の平和の文化展となっていました。

北国分地域からも15人の方々が出展（水彩画、短歌、俳句、書、パッチワーク、写真）してくださいました。出展者の皆さん、力作に感動された来場者の皆さんありがとうございました。（松林）

初 春

（里山俳句会）

独楽の子や宇宙に夢を遊ばせて

井澤 禎子

初春や七度めぐる戌の年

宇佐美てつ子

子育てに夜中も働く母カラス

小野てる子

刺激ある暮しすこやか初雀

笹沼 裕司

見上げれば初空青し探鳥会

原 美智子

冬夕焼背負いて大樹仁王立ち

藤田 暁子

初日影貝塚の丘新たなり

山本 愛子

初空や吾にもまたたく子規の星

三好ひろし

句会は、毎月第四土曜日、一時から。  
会場は、北国分一丁目いきいきセンターです。

■編集後記■「里見公園分園の環境改変問題その後」10月21日の新聞発表の通り、市長はテニスコート建設計画を廃止する発表を行いました。有志の皆さん、地域の皆さんの地道な市への働きかけが実を結ぶ結果となりました。〈建築ジャーナル〉最新号特集「木を伐るな」に市川緑の市民フォーラム佐野代表の記事が掲載されております。外環建設による黒松伐採同様、五輪が行われる東京を中心に、電線地中化、道路拡幅などを理由にした街路樹や公園の木の伐採工事が次々と計画、実行されているようです。日頃から環境に対する関心を地域住民が意識し、さらに地域の繋がりを持つことが益々重要なのではないのでしょうか。市川市長選、再選挙どうなることでしょうか？